

## ZIP ファイルを展開しないと何か支障があるのか？

一般に、メールで受け取った添付ファイルが ZIP ファイル（圧縮ファイル）の場合、「必ず展開（解凍）してから使うように」と言われていますが、それはなぜなのでしょう？

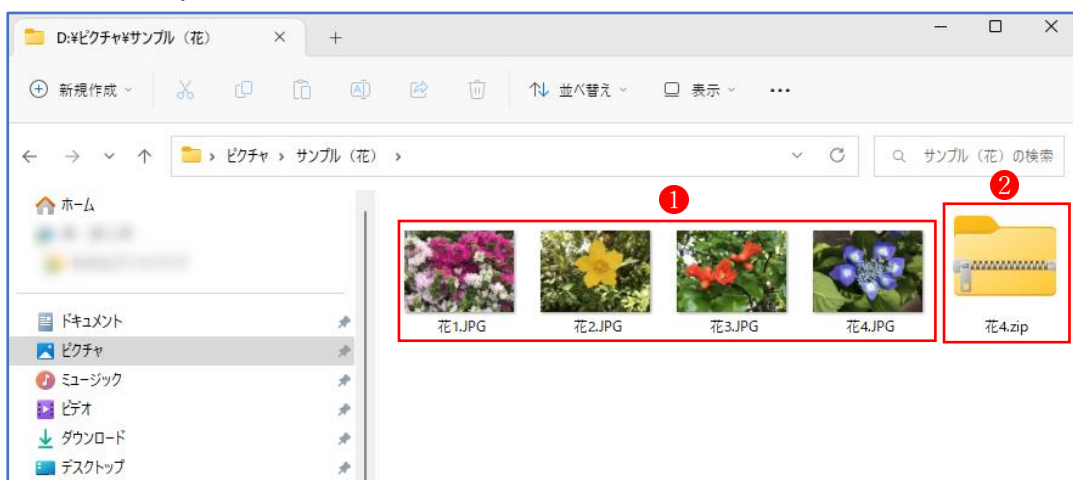
- 1 Windows では、zip ファイルを展開しなくてもダブルクリックで中身を確認することができるのに、なぜ展開しないとイケないのか？

確かに zip ファイルは展開しなくてもダブルクリックで中身を確認することができます。しかし、それは、zip ファイルを正式に開いているわけではなく、あくまで圧縮したものを覗いている状態なので、データが正常に開けなかったり、うまく動作しない場合があります。

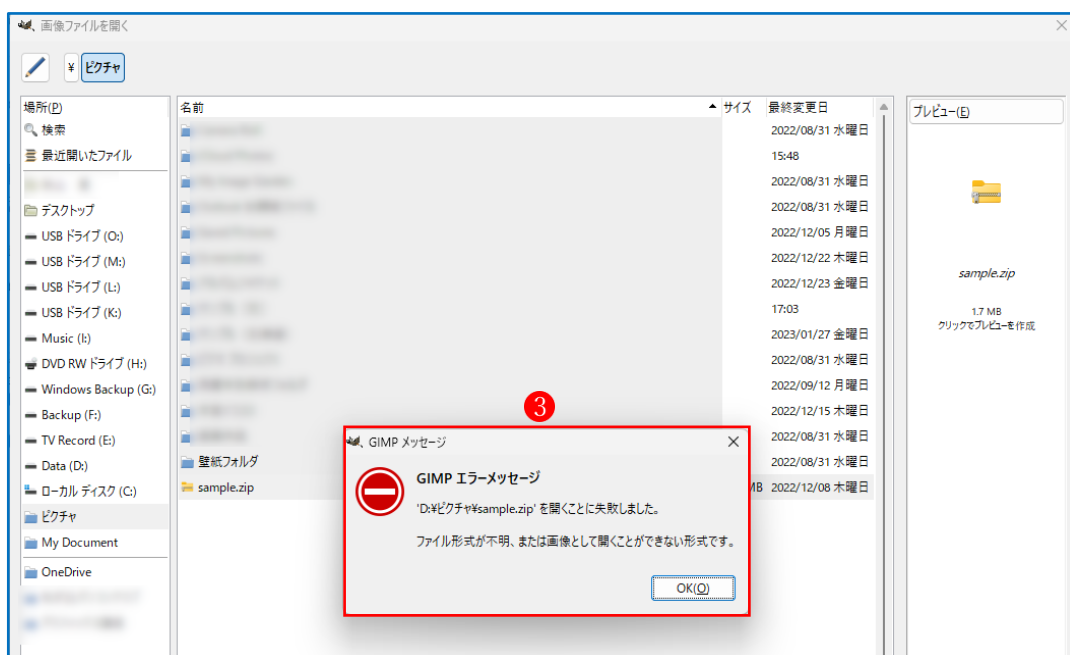
- 2 展開しないと支障があるケース①

別のアプリケーションで ZIP ファイルの中身のファイルを参照したい時には、エラーが表示され参照できません。

① 4 枚の写真 (.JPG) ① を 1 つの ZIP ファイル ② に圧縮してまとめました。



- ② 画像レタッチソフトの GIMP で、ZIP ファイルの中の写真をキャンバスの中にインポートしようとしています。ところが、ZIP ファイルの中には入れず、こんなエラー ③ になります。



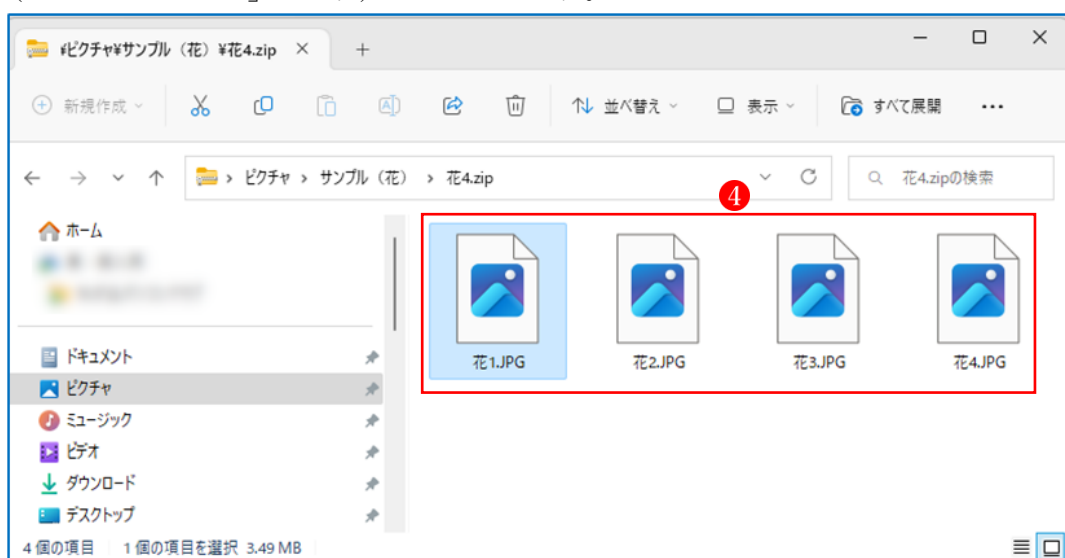
最初に Zip ファイルがファイルとして認識されてしまうので、エラーとなります。  
 なぜなら、GIMP が開けるのは画像ファイルであって、ZIP ファイルは開けないからです。ですから、このようなアプリから参照したい場合は、「展開（解凍）」してあげる必要があります。

### 3 展開しないと支障があるケース②

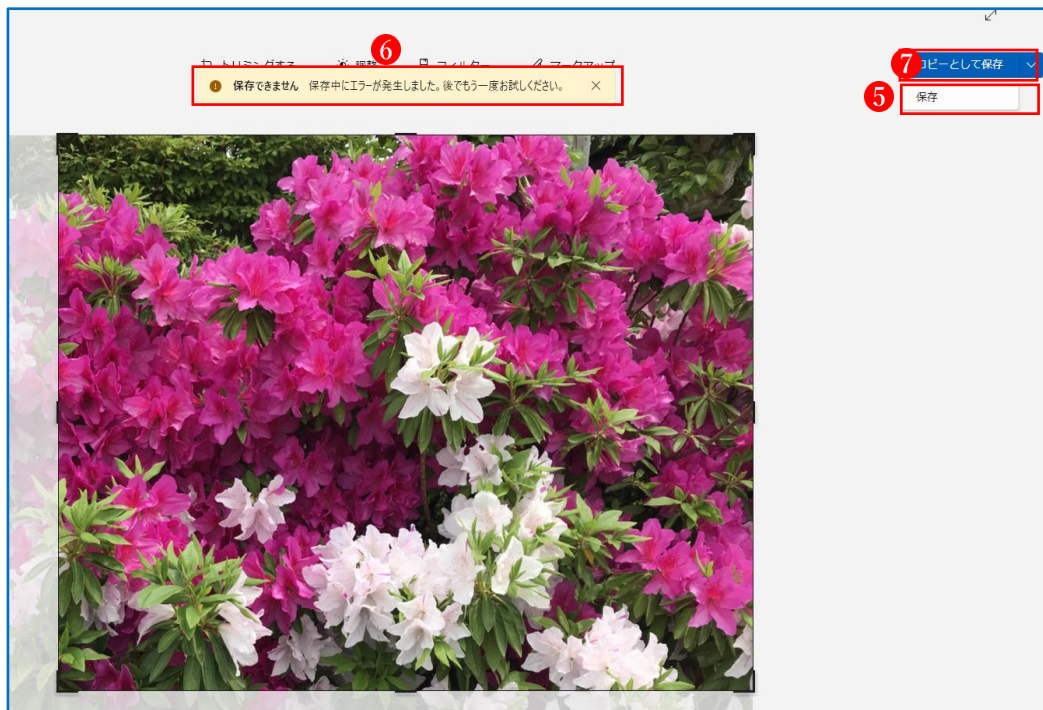
Zip ファイルの中にあるファイル（例えば JPG ファイル）を「編集・保存」するには、一旦展開（解凍）してからでないと、うまく保存できません。

① ZIP ファイルをダブルクリックして中のファイルが見えるようにしました。

展開していないと、下図のように写真のサムネイルが表示されず、アプリのアイコン④（ここでは「フォト」アプリ）になっています。



- ② 画像の1つをダブルクリックして開き、「フォト」アプリで編集した後に「保存」<sup>5</sup>しようとする、「保存できません。保存中にエラーが発生しました。後でもう一度お試しください。」などのエラーメッセージ<sup>6</sup>が表示されて、保存できません。



ただし、解凍をしないと、Zip ファイルを開いて編集した後に上書き保存しようするとエラーメッセージが出て保存できませんが、「コピーとして保存する」<sup>7</sup>ことは可能です。ここが ZIP ファイルの紛らわしいところです。

#### 4 ファイル圧縮と解凍の目的とメリット

ファイル圧縮と解凍の技術が開発された経緯やその目的、そこから得られるメリットをまとめると次のとおりです。

① ファイルサイズを小さくできる

「データ量を小さくできて、解凍すれば元に戻せる」というメリットは、今も多くのユーザーから重宝されています。

② 複数のファイルを1つにまとめられる

相手にフォルダごと送りたいといった場合、フォルダを丸ごとメールやメッセージアプリなどに添付することはできません。ファイル圧縮を利用すると、たくさんあるファイルを階層構造ごと1つのファイルにまとめて送ることができます。

③ パスワードを設定してファイルを保護できる

ファイルを圧縮する際にパスワードを設定しておく、圧縮されたファイルを受け取った人が正しいパスワードを入力しないと開けないようにすることができます。